

第39回

山口県総合芸術文化祭 2017 協賛事業

山口県高等学校総合文化祭

山口県高等学校文化連盟創立 30 周年記念大会



届け 文化の輝き 未来へ向かって

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作 詞

乗 松 美 紀 作 曲



1. てをのば せば ほ ら き っ と だ れ か が さ さ え て く れ る
2. よびかけ れば ほ ら き っ と だ れ か が こ た え て く れ る



みーわ た せー ば ほ ら な か ま が い つ で も そ ば に い る き み
こ こ ろ を ひ ら け ば ほ ら な か ま は い つ で も ま っ て い る き み



は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ る き だ そ う
は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ は ば た そ こ う



ぼくらのぶんか を つく る た め ー に
ぼくらのぶんか を つく る た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる
見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために



山口県総合芸術文化祭 2017 協賛事業

第 39 回 山口県高等学校総合文化祭

山口県高等学校文化連盟創立 30 周年記念大会

総合開会式 プログラム

式典・慶祝演奏 13:30～15:30

慶祝展示 12:00～16:00

期 日 平成 29 年 6 月 15 日(木)

会 場 シンフォニア 岩 国

主 催 山口県・山口県教育委員会
山口県高等学校文化連盟

共 催 岩国市・岩国市教育委員会

後 援 山口県中学校文化連盟

主管校 山口県立岩国商業高等学校



あ い さ つ

山口県教育委員会 教育長 浅 原 司

第 39 回山口県高等学校総合文化祭が、「届け 文化の輝き 未来へ向かって」のテーマのもと、シンフォニア岩国を主会場として盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

高校生の皆さんは、これまで部活動をはじめとする様々な機会を通じて、芸術文化活動に大変熱心に取り組んでこられたことと思います。その取組の成果を、県内 11 会場において開催される、この総合文化祭という晴れの舞台で思う存分発揮され、参加された皆さんが互いに交流を深め、文化と友情の輪を広げることにより、感動体験を共有されることを心から願っています。

本県では、山口県総合芸術文化祭の開催をはじめとして、県内各地で様々な芸術文化活動が展開されています。県教育委員会といたしましても、「文化にふれあい親しむ環境づくりの推進」を施策に掲げ、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育む文化環境づくりを推進するため、地域や学校において、優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、文化交流を行う場の充実をめざしています。

こうした中、総合文化祭に参加する高校生の皆さん一人ひとりが、多彩な芸術文化にふれ、親しみ、それぞれの個性や感性を磨きながら自ら文化のつくり手として、芸術文化活動に主体的に取り組むことで、本県の文化を創造していく人材として成長されますことを期待しています。

終わりにになりましたが、本総合文化祭の開催に当たり、格別の御支援・御協力をいただきました地元岩国市及び岩国市教育委員会をはじめ、関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げますとともに、本総合文化祭の盛会と山口県高等学校文化連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

あ い さ つ

山口県高等学校文化連盟会長 阿 武 慎 治



県下各地の高校生が織りなす文化の祭典「第 39 回山口県高等学校総合文化祭」の総合開会式が、ここ岩国市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今年の大会のテーマは「届け 文化の輝き 未来へ向かって」です。高校生たちが、みずみずしい感性でそれぞれ自分らしい表現を追求し自分らしく発表することにより、このテーマのように、輝かしい未来を創造していく力を持った文化の担い手となってくれることを願っています。

今年度は高文連創立 30 周年の節目の年です。5 月の将棋部門・小倉百人一首かるた部門の大会をスタートに、各部門別の大会や発表会が県内各地で開催されます。例年にも増して、各大会で、友情の輪が広がり、高校生の文化創造の奥行きが深まることを期待しています。

また、7 月末からは全国高等学校総合文化祭が宮城県で開催されます。参加する本県の生徒たちが、東北地方の復興への思いを込めて、日頃の活動で培われた力を十分に発揮して、それぞれの部門で一層の活躍をしてくれるものと思っています。

終わりに、本大会の開催にあたり、御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、地元岩国市、岩国市教育委員会をはじめ、準備運営に多大なご尽力をいただきました岩国商業高等学校をはじめ、岩柳地区の関係各校に心から感謝申し上げます御挨拶といたします。



届け 文化の輝き 未来へ向かって

岩国市長 福田 良彦

第39回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が、ここ岩国市において盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。地元市長として、県内各地から本市にお越しいただきました皆様を心から歓迎いたします。

本大会に参加される高校生の皆さんはこれまで、先生方の御指導のもと、仲間とともに、芸術・文化活動に熱心に取り組んでこられたことと思います。どうか日頃の成果を十分に発揮され、他校の仲間とも交流する中で新たな課題や目標を見いだすことのできる意義深い大会としてください。

ここ岩国市には、約350年前に創建された錦帯橋をはじめ、有形無形の様々な文化遺産が遺されています。これらは長い歴史の中で、志のある人々の手によって生み出され、守り受け継がれてきたものです。

「文化芸術が彩るこころ豊かなまち」を目指す岩国市では現在「文化芸術振興プラン」の重点プロジェクトとして「未来へはばたく子供夢プロジェクト」を推進しております。無限の可能性を秘めた子供たちが多様な文化芸術に触れ、また、参加・創造する機会を作ることは、未来の文化の担い手を育てる上で、非常に重要な課題と考えております。本大会を通じて、高校生の皆さんが一人でも多く、文化の輝きを未来へ届ける担い手として成長されるよう、大いに期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました関係各位に深く敬意と感謝を表しますとともに、今後益々の御活躍を祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

あ い さ つ

山口県立岩国商業高等学校 生徒会長 住田 彰



第39回山口県高等学校総合文化祭が、県内各地から多数の高校生の皆さんをお迎えし、岩国市で盛大に開催されますことを、大変嬉しく、光栄に思います。

さて、今年度の総合文化祭のテーマは、「届け 文化の輝き 未来へ向かって」です。日本には、昔からある文化や新しい文化など、様々な輝かしい文化があります。この文化の輝きが未来へも受け継がれ、人々が文化のすばらしさを感じられるように、という強い思いが、「届け」という言葉には込められています。

この総合文化祭では、様々な部門の発表があります。異なる地域や学校、また異なる部門の発表を見ることで、新たな発見があり、今後の活動にも活かってくるのではないかと思います。また、多くの芸術・文化が入り交じることで、さらに輝きを増した文化が、未来へ届くと思います。

ここ、岩国市は、日本三大名橋の一つである錦帯橋や岩国城、また山口県最高峰の寂地山などがあり、歴史と自然に恵まれた町です。そして岩国は、「日本のエジソン」と呼ばれる藤岡市助氏の生誕の地でもあります。藤岡氏は東芝の創始者の一人で、白熱灯用発電機、タングステン電球の製造など、電気事業の発展に尽くしました。これは藤岡市助氏が現代の私達に向けて届けてくれた文化だと思います。

この総合文化祭を通じて、昔からある文化や新しく生まれてくる文化が多くの人に伝わり、未来に届くことを願っています。

最後に、総合文化祭に参加する全ての高校生の皆さんが、将来の日本に夢や希望を与えてくれることを祈念して、御挨拶いたします。

次 第

1 式 典

- ◇開会宣言 山口県立岩国商業高等学校 藤永 奈帆
- ◇ファンファーレ 【演奏】岩国地域高等学校吹奏楽団
〈指揮〉宮本 敬司（山口県立岩国総合高等学校）
- ◇専門部紹介 ○演劇 ○器楽・管弦楽 ○合唱 ○吹奏楽
○マーチングバンド・バトントワリング ○日本音楽
○吟詠剣詩舞 ○美術・工芸 ○書道 ○写真
○囲碁 ○将棋 ○放送 ○文芸 ○自然科学
○小倉百人一首かるた（以上 16 部門）
- ◇主催者挨拶 山口県高等学校文化連盟会長 阿武 慎治
山口県教育委員会教育長 浅原 司
山口県立岩国商業高等学校生徒代表 住田 彰
岩国市長 福田 良彦
- ◇歓迎の言葉
- ◇来賓紹介
- ◇表 彰
〔功 績 賞〕 西村 佳子（前山口県立萩高等学校 校長）
吉本 晃（前山口県立山口中央高等学校 校長）
志道 博資（山口県立宇部高等学校 教諭）
〔テーマ最優秀賞〕 新田 愛梨（山口県立岩国商業高等学校）
山口県高等学校文化連盟 30 周年記念シンボルマーク 〔最優秀賞・優秀賞〕
住田 育実（山口県立徳山高等学校）
梶原 みうな（山口県立徳山高等学校）

【進行】山口県立岩国高等学校放送部

2 慶祝演奏

- ◇日本音楽 『錦の流れ』
【演奏】高水高等学校 長唄三味線部
- ◇マーチングバンド 『ユーロビート ディズニーメドレー』
【演奏】山口県立岩国商業高等学校
〈指揮〉即席 湖文（山口県立岩国商業高等学校）
- ◇吹奏楽 『アルメニアンダンス パートⅠ』
【演奏】岩国地域高等学校吹奏楽団
〈指揮〉佐々木 真一（山口県立岩国高等学校）
- ◇器楽・管弦楽・合唱 『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』
『交響詩「フィンランディア」』
『翼をください』
【演奏】山口県高等学校管弦楽団・合唱団
〈指揮〉即席 湖文（山口県立岩国商業高等学校）

3 慶祝展示

- ◇演劇、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるた

4 山口県高等学校文化連盟表彰者

（1）優秀芸術文化賞

原村涼加（山口県立新南陽高等学校）

平成 28 年 8 月に開催された第 40 回全国高等学校総合文化祭（広島大会）

写真部門において出品作品「道の駅の画伯」が最優秀賞ならびに文化庁長官賞を受賞。

（※平成 28 年度卒業式で授与）

西村僚太郎（山口県立防府高等学校）

平成28年8月に開催された第40回全国高等学校総合文化祭（広島大会）

囲碁部門 男子個人戦3位（5戦中4勝1敗）（※平成28年度卒業式で授与）

山口県立山口高等学校 管弦楽部

平成28年10月に開催された、日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストにおいて、金賞並びに郡山市長賞を受賞。（※平成28年度卒業式で授与）

山口県立光高等学校 放送部

平成28年8月に開催された第40回全国高等学校総合文化祭（広島大会）

放送部門大会、オーディオピクチャー部門において優秀賞を受賞した。（※平成28年度卒業式で授与）

山口県立山口高等学校 化学・生物部 濱田尚輝 松本久也 原田 要

2016 日本ストックホルム青少年水大賞に応募し、大賞を受賞。受賞活動「複合的水質監視装置の開発とナミウズムシの生態」

日本代表としてスウェーデンのストックホルムで開催された国際コンテストにおいて研究発表を行った。（平成28年度卒業式で授与）

（2）功 績 賞

西村 佳子（前山口県立萩高等学校 校長）

平成25年度から平成26年度まで山口県高等学校文化連盟会長を務め、本連盟の発展に寄与した。

吉本 晃（前山口県立山口中央高等学校 校長）

平成27年度から平成28年度まで山口県高等学校文化連盟会長を務め、本連盟の発展に寄与した。

志道 博資（山口県立宇部高等学校 教諭）

平成21年度より4期8年間、吹奏楽専門部およびマーチングバンド・バトントワリング専門部理事長として部門の発展に寄与した。

（3）テーマ最優秀賞

山口県立岩国商業高等学校 2年 新田 愛梨

「届け 文化の輝き 未来へ向かって」

応募総数 1校 222作品

（4）山口県高等学校文化連盟30周年記念シンボルマーク

最優秀賞 山口県立徳山高等学校 3年 住田 育実

優秀賞 山口県立防府商業高等学校 藤山 静香（平成28年度卒業式で授与）

山口県立徳山高等学校 2年 梶原 みうな

5 慶祝演奏出演校

〔岩国地域高等学校吹奏楽団〕

岩国 岩国総合 岩国工業 高森 高水 各高等学校

〔山口県高等学校管弦楽団〕

柳井 防府 山口 山口中央 下関南 各高等学校

〔山口県高等学校合唱団〕

岩国 防府 山口 山口中央 宇部中央 萩 野田学園 慶進 萩光塩学院
各高等学校

山口県高文連 30 周年を記念してシンボルマークを制定しました



原 作 者 山口県立徳山高等学校 3 年 住田 育実 (すみだ いくみ)

色 番 号 緑「PANTONE P 142-8 C」 オレンジ「CF 10144*」

内 容 このマークは、緑色の部分が山口 (YAMAGUCHI) の「Y」、オレンジ色の部分はローマ字の「i」、つまり「私」を表しています。そして、Y と i を組み合わせて文化の「文」になっています。それによって、「山口で私が文化を盛り上げる」ということを示します。他の人に頼るのではなく、まず自分が山口県の文化活動を盛り上げていけるように主体的・積極的に活動するという意味を込めました。そのような思いを持つ人が集まると、より良いものをつくっていけると思います。また、このマークは同時に高校生の躍動感のある姿も表しています。手の部分からはしなやかさや柔軟性、足の部分からは力強さを感じられるようにしました。このように、1 つのマークに複数の意味がありますが、それには 1 つのものに色々な意味があるように、様々な個性を持った高校生が集まって、一人一人の個性を発揮しつつ力を合わせて、演奏であったり作品であったり、1 つの大きな「形」を作り上げていければ、という思いを込めました。色についてですが、オレンジは萩の夏みかんや周防大島のみかんといった特産品や山口県特有のオレンジのガードレールなど、山口を連想させることができるように用いました。緑は山口の豊かな自然を表しています。それに加えて、高校生の姿という視点から見て、オレンジは情熱、緑は爽やかさをイメージし、高校生ならではの若々しさを表現しました。

審査概要 応募総数 13 校 263 点

審査結果	最優秀賞	山口県立徳山高等学校	3 年 住田 育実
	優秀賞	山口県立防府商工高等学校	藤山 静香
		山口県立徳山高等学校	2 年 梶原 みうな

各部門開催日程及び会場

◇将棋部門	5 月 2 7 日 (土) ・ 2 8 日 (日)	防府市文化福祉会館
◇小倉百人一首かるた部門	5 月 2 8 日 (日)	小野田高等学校
◇音楽 4 部門 (合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチングバンド・バトントワリング)	6 月 1 6 日 (金) ・ 1 7 日 (土)	シンフォニア岩国
◇日本音楽部門	6 月 1 7 日 (土)	周南市文化会館
◇囲碁部門	1 0 月 2 1 日 (土)	防府商工高等学校
◇書道部門	1 0 月 2 8 日 (土) ・ 2 9 日 (日)	下関市民会館
◇演劇部門	1 0 月 2 8 日 (土) ・ 2 9 日 (日)	不二輸送機ホール
◇放送部門	1 1 月 4 日 (土)	ニューメディアプラザ山口
◇文芸部門	1 1 月 1 1 日 (土)	梅光学院大学
◇写真部門	1 1 月 1 0 日 (金) ～ 1 2 日 (日)	周南市美術博物館
◇美術・工芸部門	1 1 月 1 7 日 (金) ～ 1 9 日 (日)	山口市民会館

6 慶祝展示

出品者及び出品校一覧

出品校	出品者	題 名
《美術・工芸》		
岩国高等学校	3年 今 重 茅 優	守りたい
岩国高等学校	3年 木 村 百 花	淡く優しく
岩国高等学校	3年 中 村 桃 子	中庭 in 学校
岩国高等学校	3年 松 村 前 み な	混沌な空間
岩国高等学校	3年 柳 原 萌 恵	いつもは通り過ぎる景色
岩国高等学校	3年 吉 村 仁 江	食事5秒前
岩国総合高等学校	3年 谷 口 日 奈	あおい果実
岩国総合高等学校	2年 浅 田 絵 理	人形の居場所
岩国総合高等学校	2年 神 村 采 花	幼き日の記憶
岩国総合高等学校	2年 河 本 莉 世	サンティー
岩国総合高等学校	2年 古 濱 玲 那	竜の一瞥
岩国商業高等学校	3年 佐 川 憂 奈	彼岸花が咲く頃
岩国商業高等学校	3年 藤 本 美 咲	アートする細胞
岩国商業高等学校	2年 藤 井 緋 菜	流
岩国商業高等学校	2年 藤 岡 夢 美	過去そして未来へ
岩国商業高等学校	2年 新 田 愛 梨	憧れの仕事
岩国工業高等学校	3年 小 田 萌	黒
柳井高等学校	3年 小 杉 尾 ひ と	未来の私は
柳井高等学校	3年 下 村 明 日	青
柳井高等学校	3年 大 下 香 渚	孤独
柳井高等学校	3年 大 浦 彩 夏	憧憬
柳井高等学校	3年 池 田 早 耶 香	華麗に咲く中で
柳井高等学校	2年 村 井 杏 優	聞いてほしい
高水高等学校	3年 須 藤 奎 歩	夢と希望の花と世界
高水高等学校	3年 佐 古 田 旭	シロサイと巨大アーチ
高水高等学校	3年 福 田 竣 平	僕の心の充血した無数の目
高水高等学校	3年 佐 伯 多 香 美	生きる欲望
《書 道》		
岩国高等学校	3年 阿 部 美 咲	臨 伊都内親王願文
岩国高等学校	3年 阿 部 美 咲	篆刻 黙契秘旨
岩国高等学校	3年 河 口 紗 瑛	臨 雁塔聖教序
岩国高等学校	3年 河 口 紗 瑛	篆刻 清麗高雅
岩国高等学校	3年 佐 川 美 瑠	臨 顔勤礼碑
岩国高等学校	3年 佐 川 美 瑠	篆刻 動揺流転
岩国高等学校	2年 豊 田 希 乃	臨 蘭亭序
岩国総合高等学校	1年 笹 犬 有 紀	臨 泉
岩国総合高等学校	1年 大 岩 本 乃 々	臨 蘭亭序
岩国商業高等学校	3年 小 川 芽 依	臨 雁塔聖教序
岩国商業高等学校	2年 永 島 美 里	臨 杞憂
岩国商業高等学校	1年 重 本 ひ な	臨 祭伯文稿
高水高等学校	2年 河 内 理 佐 子	臨 自書告身
高水高等学校 (卒業生)	河 村 瑞 穂	臨 十七帖
《写 真》		
新南陽高等学校	2年 松 岡 希 枝	再会
新南陽高等学校	2年 松 岡 希 枝	じっとしてて
新南陽高等学校	2年 松 岡 希 枝	負けない
新南陽高等学校	1年 原 綾 華	決意
新南陽高等学校	1年 原 綾 華	ひとやすみ
新南陽高等学校	1年 原 綾 華	対抗心
新南陽高等学校	1年 藤 井 千 裕	ふたり
新南陽高等学校	1年 藤 井 千 裕	はじまり
《演 劇》《囲 碁》《将 棋》《日本音楽》 大会風景		
《放 送》《自然科学》《小倉百人一首かるた》 大会風景		
《文 芸》 大会風景・文芸誌展示		

表紙：山口県立岩国商業高等学校 2年 新田愛梨 藤井緋菜 藤岡夢美

平成29年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏 名	支部・専門部	所属校
会 長 副 会 長	阿 武 慎 治 須 藤 恒 史 御神本 実 前 田 茂 雄		山口中央高校 徳山高校 柳井高校 高水高校
参 与	高 原 透		山口高校
支 部 長	奈 迫 忠 夫 御神本 実 須 藤 恒 史 宮 地 政 利 古 谷 修 一 山 根 敬 二 河 村 志 郎	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
専門部会長	伊 藤 隆 昌 斉 藤 嗣 夫 中 村 柔 道 河 口 郁 史 河 口 郁 史 牛 見 正 彦 (休部) 須 藤 恒 史 斉 藤 嗣 夫 宮 内 俊次郎 高 原 透 須 藤 恒 史 吉 長 幸 視 大 塚 泰 二 古 谷 修 一 國 吉 哲 郎	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチング・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門 小倉百人一首かるた部門	防府西高校 下関南高校 萩光塩学院高校 光高校 光高校 野田学園高校 (休部) 徳山高校 下関南高校 新南陽高校 山口高校 徳山高校 下松高校 光丘高校 宇部高校 小野田高校
専門部理事長	近 藤 真 美 秋 本 隆 杉 山 和歌奈 中 村 亮 中 村 亮 平 田 直 子 (休部) 濱 崎 洋 河 合 和 子 尾 崎 勝 利 眞 當 良 洋 弘 中 敏 之 馬 木 明 美 松 永 直 子 大 田 和 子 青 池 のぞみ	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチング・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門 小倉百人一首かるた部門	防府西高校 下関南高校 萩光塩学院高校 光高校 光高校 野田学園高校 (休部) 徳山高校 下関南高校 新南陽高校 山口高校 徳山高校 下松高校 光丘高校 宇部高校 小野田高校
監 事	栗 林 正 和 鈴 木 三 郎		防府商工高校 西京高校
事務局長 事務局次長 事務局員（会計） 事務局員（庶務）	西 村 正 浩 中 明 聖 晴 佐々木 靖 子 佐 賀 ひろ子		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 嘱託

専門部紹介

〔演劇〕

演劇は、キャスト・スタッフ全員による共同作業によって生み出されます。それはストーリーと演技に、照明・音響・舞台美術といった要素を加えながら表現される総合芸術です。

しかし、どんなに優れた表現が生まれても、それだけでは十分とは言えません。なぜなら、それを観てくれる観客がいなければ、演劇とは呼べないからです。つまり、演劇はキャスト、スタッフ、観客の三者が一体になって創り上げる芸術作品だと言えるでしょう。

今年も、8月に県内4地区で地区大会が行われ、それを突破した代表校が10月に山陽小野田市で行われる県大会に出場します。ここで最優秀賞に選ばれた3校が12月に下関で行われる中国大会へと進み、最優秀1校だけに許される、来年夏の全国大会への出場権をかけて、中国地区の強豪校たちと競い合います。



〔器楽・管弦楽〕

この部門にはギター・マンドリン合奏や弦楽合奏そして管弦楽活動を部活動としている各高等学校と中等教育学校が参加しています。

県内の演奏会としては、この総合文化祭の他にスプリングコンサートを独自に企画・開催しています。今年の3月28日には下関市生涯学習プラザ海のホールにおいて、第36回器楽・管弦楽スプリングコンサートを開催しました。来年は山口市民会館で3月下旬に実施する予定です。

全国高等学校総合文化祭へも毎年参加しており、昨年度は岩国高等学校プレクトラムアンサンブル部が広島県呉市に赴き、すばらしい演奏を披露してくれました。各県を代表する中で緻密な演奏とギター・マンドリンの響きはひととき美しく輝き、改めて山口県の器楽・管弦楽部門のレベルの高さを認識した次第でした。

今年度は宮城県で開催される全国総文へは山口中央高等学校が参加する予定です。素晴らしい演奏を披露してくれることを大いに期待しています。



〔合唱〕

「届け 文化の輝き 未来へ向かって」のテーマのもと、私たち合唱部門は総合開会式に山口県高等学校合唱団として参加します。本日の演奏のために、各校で練習を重ねてきました。少人数で活動している学校、50人を超える多数で活動している学校と各校の状況は様々ですが、今日は、山口県下の合唱を愛する仲間、そしてオーケストラの皆さんと合同のステージに立つことができる喜びを大いにかみしめながら、会場の皆さんへ「感動」を届けたいと思います。

また、昨年度は、広島県で行われた全国総文に防府高等学校が参加し、素晴らしい演奏を披露しました。今年度の宮城県で行われる全国総文には、山口中央高等学校が参加する予定です。

今後も、山口県の合唱文化が益々発展していくよう、各校で日々の練習に励んでいきます。



〔吹奏楽〕

本部門はどこの都道府県においても圧倒的に加盟校の多い部門です。全国に数多くの吹奏楽部門の仲間たちがおり盛んに活動しています。本県でも活動は盛んで、昨年度の県高校総合文化祭音楽4部門発表会には、50団体1650余名もの生徒が参加いたしました。本部門の仲間たちはこの発表会を含め、日頃から校内外での演奏活動を通して、音楽による芸術・文化の発展に大いに寄与しております。

さて、吹奏楽部を指導する顧問たちの活動として、例年、指導者研修会を実施しております。昨年は12月5日(月)に宇部高校で、講師として福岡県から打楽器奏者の木村美千子氏をお招きし実施いたしました。木村先生には、単純な楽器であるが故に演奏が難しい打楽器について、分かりやすく教えていただきました。

終わりに、今年度の全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門が、8月3日(木)と4日(金)に宮城県多賀城市で開催され、山口県立防府商工高等学校が参加予定であることを報告いたします。



[マーチングバンド・バトントワリング]

本部門は関東や関西などの大都市圏には比較的多くの学校に部活動があります。しかし、山口県では現在数校しか取り組んでおらず寂しくなっています。

マーチングやバトントワリングには演奏や演技をする側もそれを見聴きする側も、心が浮き浮きするような何とも言えない魅力があります。演奏者や演技者の全てが一体となったパフォーマンスは、見応えも聞き応えもあります。

県内で活動している本部門の加盟校の部員たちは、マーチングやバトントワリングの魅力を肌で感じながら、その良さを皆さんとステージで共有したいと願って熱心に活動しています。是非とも皆様の温かい応援をお願いいたします。

さて、今年の全国高等学校総合文化祭は宮城県で開催されます。本県からは、遠距離であることや加盟校の行事等との関係から、誠に遺憾ながら、昨年に引き続き参加できない状況です。



[日本音楽]

山口県の日本音楽部門は、箏・三味線・和太鼓・郷土芸能で組織されています。各校部員は、日本の伝統文化の素晴らしさを実感しながら、その後継の一端を担っているという誇りを持って日々練習に励んでいます。「日本音楽」と聞くと古臭さを感じる人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。古典から現代の曲まで幅広く扱い、様々な表現を楽しんでいます。

日本音楽部門では、「静」の箏曲や三味線から「動」の魂を揺さぶるような郷土芸能や和太鼓まで幅広いジャンルにわたっています。そんなバラエティに富んだ内容をすべてお見せできるのが、6月17日(土)周南市文化会館で開催される日本音楽部門発表大会です。和楽器の美しい音色、各校希望者による箏の合同演奏、そして威勢の良い掛け声と太鼓の胸を打つ響き、華やいだ音頭、踊りの輪に、ひと時心を癒してみませんか。ぜひ見に来てください。



[美術・工芸]

美術・工芸部門の活動には、多様な表現活動があります。絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、映像の各分野で、さまざまな素材や画材を使った多様な表現方法で作品が生まれてきます。秋に行われる美術・工芸部門の展示では150点あまりの優秀な力作が並び、レベルの高い展覧会となります。作品は制作者の発想や構想、それぞれの思いがしっかりと込められたものばかりで、多くの作品が一辺1mを超える大作となります。制作者一人ひとりが苦労しながらアイデアをひねり出し、それを形にすべく新たな技能や技術を習得・工夫しながら作品を生み出している痕跡を感じ取っていただけたらと思います。

今年度の美術・工芸部門は山口市市民会館で11月17日～19日に開催されます。展覧会ではお互いの作品を鑑賞し、交流と親睦を深め、創造の喜びを共感していただければと思います。



[書道]

書道部門は、秋に県総合文化祭部門大会として作品展を開催します。全国大会の予選となるコンクールでもあり、この大会に向けて生徒たちは修練を重ね、技術を磨きます。日々の練習の成果をこの1点に表現できるよう努力しています。ぜひ作品展に足を運んでいただき、制作者生徒の意志を感じていただきたいと思います。

また、年に一度、県内の書道部員の合同生徒研修会を行っています。運動部と違い、なかなか他校生徒との交流機会の少ない書道部ですが、1泊2日の大行事です。共同作品の制作や漢字一字の大字創作などの盛り沢山のプログラムの中で、新鮮な刺激を受け、学校内だけではできない経験を積みます。互いに切磋琢磨し、書の技術の上達と同時に、コミュニケーション能力や人としての心の豊かさを養える大切な機会です。そこで作り上げた共同作品は総合文化祭で発表しますのでぜひご覧ください。



[写真]

写真専門部の活動の中で最も重要なものは、山口県高等学校総合文化祭での写真作品の展示です。この展示作品に対して審査が行われ、その結果により、次年度夏の全国高等学校総合文化祭への出品作品が決定します。文化祭での作品審査や、講評会と写真研修会の講師を日本写真家協会会員のプロカメラマンに依頼しております。この講評会と研修会において参加生徒はレベルの高いアドバイスや指導を直接受けることができます。

その他にも生徒の提出作品に対して、講評やトリミング指示、コメントなど、書き込んでもらい、作品作りのアドバイスを受けることができる研修会も行っています。これらの取り組みは写真部生徒や顧問の写真撮影技術向上につながるものと考えています。今後でもできる限り、山口県の高校写真部のレベル向上を目指した取り組みを続けていきたいと思っています。



[囲碁]

今年の囲碁部門の県大会は、10月21日(土)に防府商工高校で行われます。この大会は、段級位認定戦と代表決定戦とに分かれています。段級位認定戦では、成績に応じて段や級の認定状を取得でき、代表決定戦では中国大会と全国大会の代表を決定します。中国大会には、男女団体に各1校(3名)、男子個人戦に6名、女子個人戦に3名まで出場できます。今年中国大会は、12月に山口県で開催されます。また、全国大会には、男女混成の団体戦に3名、男・女個人戦に各1名、計5名の生徒が県代表として出場することになります。今年県大会では、来年の8月に長野県で行われる全国大会の代表を決定します。

また、囲碁は、アジア大会の競技種目にも加えられ、世界的にも愛好家が増えている優れた知的ゲーム、頭脳のスポーツです。初心者でも高校の2年あまりで段位を取得するまでになることができ、中国大会や全国大会の代表になることもできます。初心者の方もどうぞ各学校の囲碁部に入ってください。囲碁部のない学校からも大会に参加することはできますので、気軽に大会に参加してみてください。



[将棋]

将棋部門では、各部門の先頭を切って、毎年5月下旬に山口県高等学校総合文化祭将棋部門の大会を開催しています。1日目は男女各団体戦、2日目は男女各個人戦が行われ、各種目上位の学校・個人が、全国総合高等学校総合文化祭に参加しています。

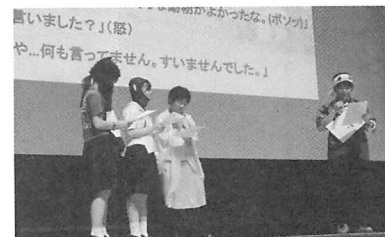
また、毎年11月に開催される山口県高等学校将棋新人大会では、研修会も兼ねながら1・2年生を対象に男女各個人戦を行っています。そこで好成績を収めた選手は、12月の中国地区高等学校将棋選手権大会および2月初旬に開催される全国高等学校文化連盟将棋新人大会への参加推薦を得ることができます。

今日、将棋は、繊細で奥深い伝統文化としての性格を残しつつ、人工知能技術の進歩と調和しながら新たな文化の形を創造しています。皆さんも、こうした将棋の魅力を持つ知的文化に触れ、盤面を通じた対話に参加し、友情の輪を広げてみてはいかがでしょうか。



[放送]

「情報を伝えること」の重要性を自覚し、創造者としての責任を果たすこと。これが、放送部の目標です。この技術を競い合う場が年2回あります。NHK杯全国高校放送コンテストと全国高等学校総合文化祭です。加えて、一昨年度より中国大会が始まりました。読んで伝えるアナウンス・朗読部門、映像や音声の編集で伝える番組部門がありますが、正確に情報を伝えるために、許される限りの取材と作品背景の探索が必要になってきます。さらに素材収集と選択のセンス、機材の取り扱い、編集技術も身につけなければなりません。正確な発音、自然なイントネーション、滑舌の良さは必要不可欠ですので、毎日の基礎訓練が欠かせません。これらの技術を買われて、校内はもちろん様々なイベントでも活躍しています。昨年度は全国総文祭の番組部門で優秀賞を受賞しました。今年度もさらなる成果を目指して研修をしています。部門によっては、一人でも参加できます。皆さんも放送部で、自ら情報を発信できる喜びを分かち合いましょう。



[文芸]

文芸部門では、毎年、山口県高等学校文芸コンクールを開催し、優秀な成績を収めたものが、次年度の全国総合文化祭に参加しています。全国総合文化祭では、全体会の後、散文、詩、短歌、俳句、文芸誌の5部門に分かれ、全国からやってきた多くの高校生と交流をしています。また、毎年秋に開催される中国ブロック大会や全国コンクールにも積極的に作品を出品し、優秀な成果を収めています。また俳句甲子園にも参加し、予選を勝ち抜いたチームが全国大会に出場しています。



文芸部の活動としては、小説や詩の創作をしたり、部員全員で文芸誌の制作を行ったり、幅の広い活動をしています。自分を表現する方法は、さまざまあると思いますが、文芸部員は言葉を通して、自分の思いを伝えたいと思っています。みなさんも一緒に創作活動を試みませんか。

[自然科学]

自然科学専門部は、山口県高文連 15 番目の専門部として誕生しました。この専門部は、各高校で日頃から地道に活動をしている自然科学部が、互いに研究成果を発表しあい、意見交換をすることにより、自然科学への興味をもっと引き出し、研究を深め、発展させたいという目的で設置されました。そして、すぐれた研究には全国大会での発表の機会が与えられます。

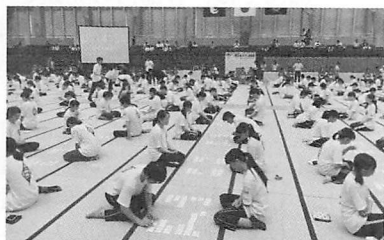


昨年度は 高川学園高校、宇部高校、山口高校が広島大学で行われた全総文祭に出場し、とても立派な発表をされました。また、山口高校化学・生物部は日本ストックホルム青少年水大賞で大賞を受賞し、日本代表としてストックホルムで開催されたストックホルム・ジュニア・ウォータープライス国際コンテストで研究発表を行いました。また、今年度の全総文宮城大会には、柳井高校、徳山高校、萩高校、高川学園高校が派遣されます。自然科学部の皆さん、全総文祭での発表を目指して、研究を深めていきましょう。

[小倉百人一首かるた]

小倉百人一首かるた部門は、発足して今年度で5年目となりました。県内唯一の「小倉百人一首かるた部」が山口県立小野田高等学校にあり、山口県の高校生かるた選手の拠点校として活躍しています。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る体力と精神力が求められる厳しい競技です。また美しい振る舞いも必要です。選手たちは、日々厳しい稽古に取り組んで、技術だけでなく、人間性も磨いています。



かるたの夏の全国大会は、かるたの聖地として有名な滋賀県大津市の近江神宮での高校選手権大会と全国高校総文の2つがあり、山口県代表選手も健闘を見せました。また昨年度の中国大会では、山口県選抜チームが見事優勝し、中国地区ブロック代表として、全国高校生かるたグランプリにも出場しました。

かるたに向き合って集中している選手の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来のかるた名人・クイーンが育つことを期待しています。

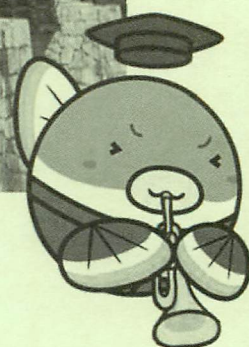
第39回 山口県高等学校総合文化祭
音楽4部門発表会

第68回 山口県高等学校連合音楽会

器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽

マーチングバンド・バトントワリング

プログラム



期	日	平成29年6月16日(金)・6月17日(土)
会	場	シンフォニア 岩国
主	催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共	催	岩国市・岩国市教育委員会
後	援	山口県中学校文化連盟
主	管校	山口県立柳井高等学校

山口県高等学校文化連盟岩柳地区音楽4部門関係校



あいさつ

山口県高等学校文化連盟
吹奏楽部門

会長 河口郁史
(山口県立光高等学校長)

第39回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会並びに第68回山口県高等学校連合音楽会が、「届け文化の輝き 未来へ向かって」のテーマのもと、ここシンフォニア岩国において盛大に開催できますことを、大変嬉しく思います。

音楽4部門が一同に会する本大会は、皆さんが日頃から熱心に取り組んできた練習の成果を存分に発揮する晴れの舞台です。また、各部門が互いに交流を深め、芸術・文化活動に対する感性や技術を高め合う学習の場でもあります。若々しいエネルギーと強い情熱を持って自分たちの表現を追究していく中で、皆さん自身が光輝き、将来の文化の担い手として成長してくれることを願っています。また、皆さんの日々の創造性豊かな活動が、文化・芸術活動の輝きにつながり、必ずや未来に受け継がれていくものと確信しています。

音楽とは、文字通り「音を楽しむ」もので、常に私たちの身近にあり、触れる者全てに充実した時間をもたらしてくれます。心を洗い、豊かな感性を育んでくれます。また、音楽には、自分が気づいていない良さや可能性を発見させ、不可能を可能にする力があるとも言われています。そうした音楽に日々携わっている皆さんには、本大会を通して、演奏する者と聴く者がお互いに心を癒しながら友情の輪を広げるとともに、自らが持つ無限の創造性を一層伸ばしてくれることを期待しています。

終わりに、本大会を開催するにあたり御尽力いただきました主管校岩国商業高等学校をはじめ柳井高等学校を主幹とした岩柳支部の関係各校に深く感謝申し上げます。また、多大な御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、地元岩国市、岩国市教育委員会に厚く御礼申し上げます。

日 程

第1日 6月16日(金)

- (1) 発表 (10:00~16:25)
吹奏楽 器楽・管弦楽 合唱 マーチング・バトントワリング
- (2) 大会式 (16:25~16:30)
あいさつ 吹奏楽部門 マーチング・バトントワリング部門会長
河口郁史 (山口県立光高等学校長)
- (3) 全員合唱 「翼をください」 (16:30~16:35)
【指揮】 即 席 湖 文
【演奏】 岩国商業高等学校

第2日 6月17日(土)

- (1) 発表 (10:00~16:15)
吹奏楽 器楽・管弦楽 合唱 マーチング・バトントワリング
- (2) 全員合唱 「翼をください」 (16:15~16:25)
【指揮】 田 中 哲 次
【演奏】 柳井高等学校

音楽4部門発表会出演順 ～6月16日(金) 前半～

順番	形態	学校名 (人数)・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
1	弦楽合奏	柳井高等学校 (24名) ・ルーマニア民俗舞曲	指揮 梅本純子 作曲 バルトーク 編曲 ウェルナー				
2	吹奏楽	岩国工業高等学校 (24名) ・鳥之石楠船神～吹奏楽と打楽器群のための神話	指揮 山下やよい 作曲 片岡寛晶				
3	吹奏楽	田布施農工高等学校 (15名) ・西遊記 ～天竺への道	指揮 杉本昇三 作曲 広瀬勇人				
4	吹奏楽	山口県桜ヶ丘高等学校 (13名) ・SEKAI NO OWARI メドレー	指揮 町信太郎 作曲 Fukase、Nakajin				
5	吹奏楽	聖光高等学校 (4名) ・なぞのたからばこ	作曲 石毛里佳				
6	吹奏楽	防府高等学校佐波分校 (4名) ・The Entertainer	作曲 Scott Joplin 編曲 和久 悟				
7	吹奏楽	柳井学園高等学校 (8名) ・My Foolish HEART	作曲 Victor Young 編曲 Dave Rivello				
8	吹奏楽	光高等学校 (24名) ・土蜘蛛伝説～能「土蜘蛛」の物語による狂詩曲 (吹奏楽版)	指揮 中村 亮 作曲 松下倫士				
9	吹奏楽	徳山商工高等学校 (24名) ・サーカスタウン・パレード・マーチ	指揮 山近純一 作曲 高橋宏樹				
10	吹奏楽	西京高等学校 (25名) ・フニクリ・フニクラ狂詩曲	指揮 丸山 航 作曲 ルイージ・デンツァ 編曲 後藤 洋				
11	管弦楽	山口中央高等学校 (44名) ・組曲「道化師」より	指揮 西村正浩 作曲 カバレフスキー				
12	吹奏楽	新南陽高等学校 (46名) ・バレエ音楽「四季」より秋	指揮 奥中淳夫 作曲 A. グラズノフ 編曲 佐藤正人				
13	吹奏楽	高森高等学校・高森みどり中学校 (62名) ・紺碧の波濤	指揮 石井啓登 作曲 長生 淳				
14	合唱	宇部中央高等学校 (13名) ・永遠の美容法 1. 美しい顔について ・Story	指揮 上野香緒理 作曲 Petr Eben 作詞 AI 作曲 2 SOUL				
15	合唱	山口中央高等学校 (14名) ・君が君に歌う歌 ・変わらないもの	指揮 坂井里衣 伴奏 高木敦子 作詞 リリー・フランキー 作曲 大島ミチル 作詞 奥 華子 作曲 奥 華子				
16	バトントワリング	慶進高等学校 (20名) ・RISING ・You Can't Stop The Beat	作曲 吉田健一 編曲 吉田兄弟 作詞 Marc Shaiman 作曲 Marc Shaiman				

音楽4部門発表会出演順 ～6月16日(金) 後半～

順番	形態	学校名 (人数)・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
17	管弦合唱	山口高等学校 (143名) ・「美女と野獣」から	指揮	中川 聡	作詞	Howard Elliott Ashman	
				作曲	Alan Menken	編曲	真島俊夫
18	吹奏楽	小野田高等学校 (51名) ・セルゲイ・モンタージュ	指揮	中村 一	作曲	鈴木英史	
19	吹奏楽	長府高等学校 (48名) ・「吹奏楽のための3つの民謡集」より	指揮	岡崎 藍	作曲	Andrew Boysen Jr.	
20	吹奏楽	下関商業高等学校 (31名) ・喜びの島	指揮	尾本優輝	作曲	Claude Debussy	編曲 小野寺 真
21	吹奏楽	熊毛南高等学校 (29名) ・秘儀Ⅳ〈行進〉	指揮	福田 亮	作曲	西村 朗	
22	吹奏楽	厚狭高等学校 (26名) ・西遊記～天竺への道	指揮	横山達也	作曲	広瀬勇人	
23	吹奏楽	響高等学校 (21名) ・ワタリドリ ・天の剣	指揮	来見田宏明	作曲	川上洋平	編曲 西條太貴
				作曲	福田洋介		
24	吹奏楽	下関工業高等学校・下関工科高等学校 (14名) ・美中の美 ・恋	指揮	吉永暁子	作曲	JOHN PHILIP SOUSA	
				編曲	Frederick Fennell		
				作曲	星野 源	編曲	郷間幹男
25	吹奏楽	萩商工高等学校 (14名) ・遙遠の海～アウロラを求めて～	指揮	平田優一	作曲	田村修平	
26	吹奏楽	美祢青嶺高等学校 (27名) ・組曲「ロメオとジュリエット」より	指揮	関段俊徳	作曲	セルゲイ・プロコフィエフ	編曲 鈴木英史
27	吹奏楽	下松高等学校 (39名) ・楽劇「サロメ」より 7つのヴェールの踊り	指揮	小松秀之	作曲	R. シュトラウス	編曲 森田一浩
28	吹奏楽	防府商工高等学校 (50名) ・「シバの女王ベルキス」バレエ原典版 第3幕、第7幕より	指揮	藤本博途	作曲	O. レスピーギ	編曲 藤本博途
29	吹奏楽	徳山高等学校 (52名) ・歌劇「トスカ」より	指揮	井町好子	作曲	G. プッチーニ	編曲 鈴木英史
30	吹奏楽	宇部高等学校 (52名) ・バレエ音楽『四季』より「秋」	指揮	志道博資	作曲	A. Glazunov	
31	吹奏楽	防府西高等学校 (79名) ・富士山 ー北斎の版画に触発されてー	指揮	中村武司	作曲	真島俊夫	
32	吹奏楽	岩国商業高等学校 (50名) ・オリエントの光芒～ウインドオーケストラのために～	指揮	即席湖文	作曲	片岡寛晶	

～ 大 会 式 ～
～ 全 員 合 唱 ～

音楽4部門発表会出演順 ～6月17日(土) 前半～

順番	形態	学校名 (人数)・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
33	吹奏楽	中村女子高等学校 (26名) ・スペイン狂詩曲	指揮 岸美砂子 作曲 F. リスト		編曲 森田一浩		
34	吹奏楽	華陵高等学校 (13名) ・気高きカスケード連峰の歌	指揮 近間弘子 作曲 A. リード				
35	吹奏楽	熊毛北高等学校 (21名) ・元禄<2014年版>	指揮 杉山 潤 作曲 櫛田肤之扶				
36	吹奏楽	下松工業高等学校 (29名) ・行進曲「国民の象徴」 ・三つのチェコ民謡	指揮 伊賀啓子 作曲 E. E Bagley 作曲 JOHNNIE VINSON				
37	マンドリン合奏	岩国高等学校 (18名) ・情熱大陸	指揮 矢野竜也 作曲 葉加瀬太郎		編曲 尾関美和子		
38	吹奏楽	山口農業高等学校 (18名) ・草薙の剣	指揮 島田敏幸 作曲 広瀬勇人				
39	吹奏楽	宇部西高等学校 (17名) ・The spirit of an Eagle	指揮 豊田恵美 作曲 LARRY CLARK				
40	吹奏楽	光丘高等学校 (21名) ・吹奏楽のための「変容」 ・虹	指揮 福田 望 作曲 瑞木 薫 作曲 森山直太郎		御徒町凧	編曲 信長貴富	
41	合唱	岩国高等学校 (8名) ・Ave verum corpus ・プレゼント	指揮 茶川保子 作曲 F. プーランク	伴奏 丸川瑞生			
42	合唱	防府高等学校 (39名) ・子どもは・・・・・・ ・何度でも	指揮 上田憲明 作詞 谷川俊太郎 作詞 吉田美和 作曲 中村正人	伴奏 高橋麻央	作曲 三善 晃		編曲 井上一平
43	吹奏楽	宇部商業高等学校 (43名) ・たなばた	指揮 安部浩信 作詞 酒井 格				
44	吹奏楽	早鞆高等学校 (44名) ・スピリティッド・アウェイ	指揮 松井友介 作曲 久石 譲	木村 弓	編曲 森田一浩		
45	吹奏楽	宇部フロンティア大学付属香川高等学校 (45名) ・民衆を導く自由の女神	指揮 河野 正 作曲 樽屋雅徳				
46	吹奏楽	宇部鴻城高等学校 (52名) ・組曲「ハーリヤーノシュ」よりIV、VI	指揮 松田廉遵 作曲 Z. コダーイ		編曲 G. バイナム		
47	吹奏楽	岩国高等学校 (58名) ・富士山～北斎の版画に触発されて～	指揮 佐々木真一 作曲 真島俊夫				

音楽4部門発表会出演順 ～6月17日(土) 後半～

順番	形態	学校名 (人数)・演技、演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
48	管 弦 楽	下関中等教育学校 (67名) ・交響曲第4番より第4楽章	指揮 飯田幸生 作曲 P. I. チャイコフスキー				
49	管 弦 楽	防府高等学校 (59名) ・バレエ音楽「三角帽子」より	指揮 上田憲明 作曲 M. de. ファリャ				
50	吹 奏 楽	柳井商工高等学校 (17名) ・響～音楽ができる喜び～	指揮 武安敏之 作曲 伊藤康英				
51	吹 奏 楽	豊北高等学校 (11名) ・フラワー・クラウン	指揮 高木雅明 作曲 和田直也				
52	吹 奏 楽	西市高等学校 (13名) ・明日へ吹く風	指揮 古谷弘子 作曲 和田直也				
53	吹 奏 楽	周防大島高校・安下庄中学校 (15名) ・ほたるのひかり	指揮 井ノ上拓郎 作曲 福田洋介				
54	合 唱	萩高等学校 (39名) ・やわらかいいのち ・Happiness	指揮 正木めぐみ 作詞 谷川俊太郎 作詞 WONDERLAND	伴奏 秋山琴音	作曲 松本 望 作曲 岡田実音		
55	吹 奏 楽	田部高等学校 (17名) ・小さな楽団のための組曲	指揮 宮本 泰 作曲 高橋宏樹				
56	吹 奏 楽	岩国総合高等学校 (16名) ・雪月花	指揮 宮本敬司 作曲 櫛田 朕之扶				
57	吹 奏 楽	大津緑洋高等学校 (21名) ・想い麗し浄瑠璃姫の雫	指揮 岡本美和 作曲 樽屋雅徳				
58	吹 奏 楽	山口県鴻城高等学校 (24名) ・プロメテウスの雅歌	指揮 内田良一 作曲 鈴木英史				
59	吹 奏 楽	萩高等学校 (32名) ・喜歌劇「微笑みの国」セレクション	指揮 藤本友治 作曲 Franz Lehár			編曲 鈴木英史	
60	吹 奏 楽	防府高等学校 (51名) ・トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565	指揮 上田憲明 作曲 J. S. バッハ			編曲 E. ライゼン	
61	吹 奏 楽	下関西高等学校 (69名) ・バッハの名による幻想曲とフーガ	指揮 藤田隆行 作曲 F. リスト			編曲 田村文生	
62	吹 奏 楽	豊浦高等学校 (69名) ・閻浮檀金幻想～吾妻鏡異聞～	指揮 檜原 弘 作曲 天野正道				
63	吹 奏 楽	柳井高等学校 (36名) ・歌劇「トゥーランドット」から	指揮 田中哲次 作曲 プッチーニ			編曲 後藤 洋	

～ 閉 会 式 ～
～ 全 員 合 唱 ～

翼をください

作詞 山上 路夫
作曲 村井 邦彦
編曲 佐々木 真一

♩ = 60 Calm

1 ♩ = 88~92
mp

ソプラノ
アルト

1 い ま わ た し の ね が い ご と
2 い ま と み と か め い よ な ら

テノール
バス

が か な う な い ら ば つ ば さ が ほ し い
ば か い な ら な い け ど つ ば さ が ほ し い

2 *mp* Ah—

mf Ah—

1 こ の せ な か に と り の よ う に し
2 こ ど も の と き と ゆ め み た こ と い

mf div *mf* div

ろ い つ ば さ つ け て く だ さ
ま も お な さ ゆ め に み だ て さ い

3 *Energico*

f

こ の お お ぞ ら に つ ば さ を ひ ろ げ と ん で ゆ き た い
い こ の お お ぞ ら に つ ば さ を ひ ろ げ と ん で ゆ き た い

più f

よ — かな しみのない — じゅ うな そらへ — つば さ は た め か

よ — かな しみのない — じゅ うな そらへ — つば さ は た め か

più f

せ — ゆ き た い

せ — ゆ き た い

mp rit.

uh —

mf p *mf p* *mf p* *mf p*

poco

p

uh —

Coda

翼をください

いま私の願いごとが

かなうならば 翼がほしい

この背中に 鳥のように

白い翼 つけて下さい

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

いま富とか名誉ならば

いらないけど 翼がほしい

子どもの頃 夢見たこと

今も同じ 夢に見ている

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

